



からだ け せきつい どうぶつ  
体が毛でおおわれている脊椎動物  
で、ヒトと同じく母乳を飲んで育つ。  
おほ ほにゅうい たまご う ははおや  
多くの哺乳類は卵を産まず、母親の  
たいない せいちよう こ う  
胎内で成長した子どもを産む。



□カヤネズミ(ネズミ目ネズミ科)  
ススキなどの草原にいる日本最小のネズミ。  
枯草を使って球状の巣を草の上に作り、子育てをする。写真は巣のみ。



□アズマモグラ(モグラ目モグラ科)  
東日本に生息するモグラ。一生のほとんどを地中で過ごす。モグラ塚はトンネルを掘って出た土を捨てたもの(右上)。



□アライグマ(ネコ目アライグマ科)  
北アメリカから移入された外来種。  
かわいい見た目は裏腹に、とても気性が荒く危険。しま模様の尻尾が特徴。



□ホンダタヌキ(ネコ目イタ科)  
童話や昔話でもよく登場するなじみ深い動物。人里近くの雑木林などにも生息し、都市部での目撃も多い。



□ハクビシン(ネコ目ジャコウネコ科)  
東南アジアや中国南東部原産の外来種。  
夜行性の動物で、鼻から頭にかけ白い線模様が入る。

## アライグマ・ホンダタヌキ・ハクビシンの足あとの違い



■アライグマ  
5本の長い指がはっきりと分かれており、人と同じような形をしています。かかとまで地面につけて歩くため、細長い足あとが残ります。

■ホンダタヌキ  
指は4本で全体的に丸い形をしています。ネコの足あとと似ていますが、タヌキは爪あとが残りがやすく、目立ちます。木登りが得意ではないため、足あとは地面によく見られます。



■ハクビシン  
指の数は5本です。アライグマと同じく、かかとまで地面につけて歩くため、細長い足あとをしています。木登りが得意で、塀や電柱などに足あとが見られることがあります。